

氏名	高下 梓 / TAKASHITA Azusa
所属・職名	松本看護大学 看護学部 准教授
research map	https://researchmap.jp/1367-3445
連絡先	mjc-a.takasita(a)matsutan.ac.jp
担当科目	看護大：人間関係論、カウンセリング理論、コミュニケーション支援論、家庭支援論、教養ゼミナール、連携ゼミナールⅠ、連携ゼミナールⅡ、保健統計学Ⅰ、保健統計学Ⅱ 短大：情報処理演習、人間の発達と心理的支援
学歴	明星大学大学院 人文学研究科心理学専攻 博士後期課程 単位取得後退学
学位	修士（人間科学）、修士（心理学）
主な経歴	明星大学人文学部（兼任講師）、東洋大学教育学部（兼任講師）、松本短期大学幼児保育学科などを経て現職。
研究分野	心理学
所属学会	日本心理学会、日本精神衛生学会、日本教育心理学会、日本学生相談学会、日本臨床心理士会、日本LD学会、日本心理臨床学会、日本保育文化学会、日本子育て学会、日本看護科学学会
主な研究業績	
著書	<ol style="list-style-type: none"> 1 みるみるわかる心理アセスメント.共著.平成20.明星大学出版部 2 子供の育ちを支援する教育相談.共著.平成21.明星大学出版部 3 子供の育ちを支援する教育相談 改訂版.共著.平成23.明星大学出版部 4 ストレス科学事典.共著.平成23.実務教育出版 5 みるみるわかる心理アセスメント～やわらか心理検査集～.共著.平成27.明星大学出版部 6 保育所実習, 幼稚園 教育実習.共著.平成30.保育出版会 7 理論と実践をつなぐ教育心理学.共著.平成31.みらい 8 みんなで考える特別支援教育.共著.令和1.北樹出版 9 シードブック子育て支援演習.共著.令和3.建帛社
学術論文	<ol style="list-style-type: none"> 1 心理臨床家の専門家としての発達に関する研究(1)日本語版スーパーヴァイジー職業的発達尺度作成の試み.共著.平成26.多摩心理臨床学研究7, pp.7-15. 2 被災地支援におけるアクション, リサーチのプログラム評価をめざして.共著.平成26.明星大学心理学年報32, pp.39-46. 3 コミュニケーションにおいて困難が生じることばの実態調査—NPO法人仕事の引出しの活動から得られた視点を起点として—.共著.平成30.明星大学心理学研究紀要36, pp.21-25. 4 看護学生の不安, 悩み, ストレスに関する実態調査.共著.平成30.松本短期大学研究紀要27, pp.31-38. 5 保育系学生のキャリア選択プロセスとそれにかかわる要因.共著.平成31.松本短期大学研究紀要28, pp.3-11. 6 保育実習指導を活用した園内研修の検討(1)指導の実態と指導者の意識を中心に.共著.令和2.保育文化研究11, pp.17-30. 7 保育実習指導を活用した園内研修の検討(2)実習指導者の負担感を中心に.共著.令和3.保育文化研究12, pp.63-76. 8 看護学生の不安・悩み・ストレスに関する実態調査(2)学年による特徴.共著.令和3.松本短期大学研究紀要31, pp.13-26. 9 保育実習指導を活用した園内研修の検討(3)実習指導者が感じる実習指導の有意義性を中心に.共著.令和3.保育文化研究13, pp.23-36. 10 幼児保育学科の新入生に対する情報教育の現状と課題.共著.令和5.松本短期大学研究紀要33, pp.71-80.